

# 水晶デバイス用周波数調整装置

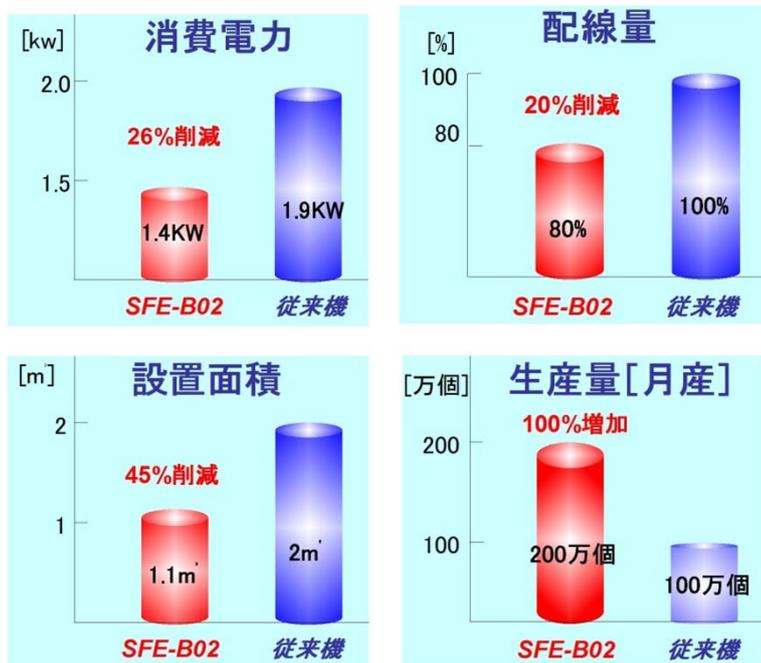
【株式会社昭和真空】

## 【特徴】

- ・ ビーム幅：50mmの新型イオンソースの搭載と複数素子高速監視アルゴリズムの採用により複数個同時処理が可能
- ・ 2室型ロードロック方式の採用により連続生産が可能
- ・ 省電力、省スペース化により環境性能が大幅UP

## 【効果】

- ・ 「単純な構造」「簡単な操作」と「容易なメンテナンス」を実現
- ・ 消費電力、設置面積、配線材量は削減し、生産量は2倍に向上
- ・ 稼働時の消費電力を節減し、約1,400tのCO<sub>2</sub>削減可能※<sup>1)</sup>



※1) ライフ販売台数計、稼働年数合計

$(1.9-1.4)kw \times 24 \times 300 \times 555g / 1,000,000 = 2t / \text{年間台当り}$   
 $2t \times 100 \text{台} \times 7 \text{年} = 1,400t$   
 ・ 年間300日稼働(24時間)の場合  
 ・ 1kwh=CO<sub>2</sub>換算量555gとして計算  
 ・ 販売計画台数100台/ライフ、稼働年数7年

新型周波数調整装置：SFE-B02